



国際ロータリー第2790地区

千葉南ロータリークラブ週報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

創立	1964年3月2日	例会日	毎金曜日12時30分	例会場	オークラ千葉ホテル
会長	榊原 行夫	幹事	小林 透	雑誌会報委員長	瀬谷 研一
事務局	〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階			TEL	043-245-3204

2011年2月第1週号

第2302回



平成23年2月4日(金) 点鐘12:30(晴れ)

- ◆国歌斉唱 『君が代』
- ◆ロータリーソング 『奉仕の理想』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

- ・国際ロータリー第2790地区第3分区A
ガバナー補佐 宇佐見 透様
- ・米山奨学生 閻 宏偉さん

■ご挨拶

第3分区Aガバナー補佐 宇佐見 透様

こんにちは。

ガバナー補佐会議が2か月に一度あるのですが、そこで織田がバナーからいろいろとご指示を頂いております。この度は、たまたま第3分区A・B合同でIMをやってみようではないかということで話が纏まりまして、水野ガバナー補佐からも快諾を頂きました。講師としておもちゃ博物館館長の北原照久氏を招いてIMを開催したいと思っております。千葉南クラブさんにも多々ご迷惑をお掛けするかと思いますが、何とかIMを成功に導きたいと思っておりますので、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

■会長挨拶及び報告 榊原 行夫会長

理事・役員会報告

◇会員募集パンフレットについて

会員増強の方法としてパンフレットを作りましたが、まだ不備などがありますので、来月までには完成させて皆様にお渡ししたいと思っております。

◇第2回創立50周年記念準備委員会報告(野城委員長)

- ・記念事業の費用は、剰余金から500万円を限度として捻出する。

- ・当クラブのエリア範囲内で記念事業を行う。
1つの例として都川の土手に桜を植樹する。
北原会員にお骨折り頂き、進めて行きたい。
ロータリーを市民に分かって頂けるように工夫したい。
- ・記念誌作成について
写真で見る50年誌にしたい。
記念誌のタイトルは公募する。
作成費用は、50万円を限度とする。
- ・記念事業やイベント用にオリジナルジャンパーを作りたい。
- ・出井年度で「実行委員会」とし、全会員に携わって頂きたいと思ひます。

◇1/28「懇親移動例会」会計報告(北原委員長)

24名参加。菱川師宣記念館で美人画を堪能。
水仙ロードに感動して頂きました。
余剰金が75,634円ありました。

◇2/15「インターシティ・ミーティング」開催について (水野ガバナー補佐)

皆様には、全員登録ということで有難うございます。また、第3分区AとBより多くの会員の皆様にご出席頂き、心より感謝申し上げます。千葉幕張クラブと千葉南クラブがホストクラブとなっており、いろいろとご不便をお掛けするかも知れませんが、皆様のご協力頂き、IMを終了し、第3分区としての務めを果たして行きたいと思ひます。
どうぞ宜しくお願ひ致します。

◇「第34回RYLAセミナー」参加について(金親委員長)

上田会員にご尽力頂き、2名の男性社員の方をご輩出頂きました。ご協力、有難うございました。

■委員会報告

出席委員会より(野城委員長)

2010-2011年度上期皆出席賞は、22名です。記念品を差し上げたいと思ひます。

■2月度誕生日祝い・結婚記念日祝い

【誕生日祝い】

8日 竹尾 白会員 28日 吉田 裕成会員

【結婚記念日祝い】

6日 野城 友三会員 12日 鈴木 政彦会員
26日 金親 博榮会員



■ ニコニコボックス報告

☆植松 省自会員

向後会員、本日の卓話、宜しくお願い致します。

寺澤会員、いつもいつも写真を戴き、有難うございます。

本日のニコニコボックス	2,000 円		
ニコニコボックス Fee	156,000	累計	514,000 円
金の箱	1,000 円	累計	21,538 円

■ 出席報告 (会員数39名)

出席者数33	欠席者数6	ビジター 2	修正出席率78. 95%
--------	-------	--------	--------------

千葉市内例会変更のご案内 [メーキャップにご利用下さい](#)

千葉RC	月	2/14	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	2/15	センシティタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	2/15・22	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	2/16	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水	2/9・16・23	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	2/17	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	2/17	京成ホテルミラマーレ

★ 本日の卓話 ★

演 題…『千葉市新年度予算について』

卓話者… 向後 保雄会員



私は、議会に入ってから、平成19年の次の年が初の予算でしたので、これで4回目の予算の審議をする事になります。そんな中で皆さんに分かりやすい市政を目指すと言う意味で、予算の流れとか裏話とか裏工作がありまして、そんなところをお話しさせていただきたいと思っております。

19年の4月に当選させていただいて一番大変な議会だったのが、熊谷市長が当選した翌年の議会でした。それは去年の22年3月の定例会議の議会でした。今までの鶴岡市長と違った方針が出ていましたので、最大会派である自民党は抵抗いたしました。憎らしくて抵抗したわけではなく、予算を削られたわけですから、予算の復活を求めていると活動をしました。夜中の12時過ぎまで続いた議会でしたが、そんな議会でしたから市民にとっては好ましいものであったと思われる。今年と同じように最後の最後まで競り合うような攻防戦をやるのかというと、今のところでは、そこまではやるつもりはない、というように決定しています。それには色々の理由がありまして、4月10日に選挙が控えているということもございまして、エネルギーを使ってしまいます

と昼間の活動が出来なくなるということもございまして。それだけ予算審議が大変な労力を使ってしまうということですから。

先ず、予算編成の流れ(イメージ)の資料を皆さんに配布いたしました。これはホームページにも掲載してございます。この機会には是非ご覧頂きたいと思っております。一番左に「要求」と言うところがございまして、各部局から要求が生まれて、先ずは要求案に従いまして、市の台所を預かる「財政局の課長段階」を経過して「部長段階」でも要求は切られる事を前提で計上されるのですが、要求は何時ごろ出すのかということ、既に昨年の初めくらいには要求書を出しています。それまでには市長の要望を聞いた上で出す訳ですが昨年の10月の段階で出しております。その後財政課長や財政局部長の査定が11月から12月に掛けて行なわれまして、その後市長の査定が年明けの1月6日から行なわれました。その頃になりますと各会派にも予算書の原案が回ってきまして検討が始まります。その市長査定に対して各会派で話し合いがされた後、各幹事長の集まりで予算をどう対応するかの話合いがもたれて要望書を出します。その結果で市長の復活査定がありますから、そこで今まで予算化されていなかったものが復活という事もあります。今年もあったようですが、たいした金額ではありませんでした。熊谷市長も非常に頑固なところがありまして、自分の方針は絶対に曲げないのです。我々が要求しても、なかなか受け入れてくれないところがあります。それぐらい意志が硬くないと市長も勤まらないのかなあ、と最近感じております。最終的に復活査定があり予算案が決定されるわけですが、その日程は2月15日から議会が始まり、予算案について予算委員会が設定されて2ヶ所に分かれて審議する事になります。熊谷市長の予算規模は当初3, 876億円ほどあったのですが、いろいろ査定をされて3, 582億円と特別会計3, 684億3, 700万円で合計7, 266億円が熊谷市長の懸案として2月15日に上がってくる予定になっております。

今回の熊谷市長の予算についての、全体の感想としては、彼がマニフェストに謳った政策などを盛り込むものとして、「科学の都」と言っていますので、「花の都千葉」から「科学の都千葉」へというイメージを作ろうという方針でございまして、そういったイベントについての新しい予算を挙げてきております。そういった目新しい予算以外にもいろいろ彼の思いが予算書の中に入っていますが、我々としても市長に対して8月の段階で各会派として自民党も出していますが、それが反映されているかどうか興味のあるところ。市長は大変頑固なものですから、なかなか受け入れませんが、少しは我々の立場も考えてくれたという感じがいたします。

個人的に言うとALS(筋萎縮側索硬化症)という難病で40代から60代に多く発生する働き盛りのお父さんとか、段々動けなくなって最終的には亡くなってしまふ病気があるのですが、そのALS協会から、私が要望を受けてコミュニケーション障害で、病院にALSの患者が入院した時に、言葉が喋れなくなるので、瞬きとかいろんな手段を使って、顔のぴくぴくとするようなとかの難し

い会話をコンピュータを通して読み取るような事は特別な人でないと読み取れないのだそうですが、そういったALSの患者に対して、その費用が保険適応されないの、何とか市で負担して下さいという話がありました。それを私が昨年の第一回に一般質問したのですが、市長もそれを覚えていて今年予算の中に入れてくれました。その件で市長から私に直接電話を頂いて、何とか予算をつけますからと言われました。これは千葉県では千葉市が最初で、何処もやっておりません。千葉市が先駆を切つてやると、他の市でも予算化される可能性が非常に高い、そういう面でも千葉県で初めての予算がつくという事は画期的なことです。金額的には90万円ですから少ない予算ですけど、これが突破口となって予算がつくことによって補正予算で増やしていく事ができるので、そういう実行段階でも活動ができるので、保健福祉局としても、私に感謝をしてくれたと思います。

熊谷市長もいろんな面で、私は彼とは同期生なので話を聞いていただけだと思いますが、彼とは会派が違うので考え方は少し違うという事を理解しながらも、何とかしてよ、ということに対してやってくれるのは、彼の思いが保守に対してもあるな、という事を感じているのです。そういった意味で少しは頑固ながらも、意見を取り入れる彼も成長したな、と自民党としては感じております。そんな意味で、彼の予算を去年の熾烈な戦いをしたような、攻防戦をしないようにしようと決まっております。

それから、熊谷市長に要望したのですが、今回いろんな新しい新規事業を予算申請してきております。それに対して23年度新規予算編成に対する申し入れ書を、自由民主党千葉市議会議員団として、今日提出しました。その内容は本市の厳しい財政状況を充分認識して、徹底的な事務事業の整理合理化を求めるといふ事と、緊急性の無い新規事業の立ち上げは、厳に慎んでくれといふ事を申し入れをしました。ただでさえ財政難の中ですから、そんな要望もさせて頂き行政改革で確保した財源で、今年度の必要性を有しながら削減された事業の復活をお願いいたしました。一つ復活したものは千葉駅から中央公園までイルミネーションがありました、あれは年間1,260万円掛かるので、去年は予算がカットされてなくなりましたが、今年は商工会議所等、その他民間の方たちの努力を引き出そうといふ事で、足りないところを市で何とかしてください、と要求をしまして、金額的には少ないかも知れませんが、400万の予算の復活を致しました。少しは市長も我々の要求を呑んでくれていると思います。

最後に今、子供手当が民主党政権の中でマニフェストでは、26,000円ですが、今は、13,000円で半額の支給になっています。ただ、今年度は、3歳未満は7,000円+20,000円といふ事になっています。この予算が千葉市の場合には230億円になるのです。子供手当は230億円あるのです。全て国予算でと、民主党のマニフェストでは、国でやりますといふ事だったので、一部、旧児童手当が法律上は残っていますが、廃止されましたので、その分の児童手当は国、県、市が3分の1づつ負担する事になっていました。その国の分は、千葉

市に補助されなければならないものです。ところが20,000円と13,000円と年齢によって違いますが、その子供手当が、千葉市については230億円ですから、市の負担が14億4,000万円あります。その14億4,000万円については、もともと国の言い方としては児童手当が無くなったのだから、市の負担が無くなった分を市で出さないよ、という言い方なんです。ですから国が出さないで市で負担しないとやっているの、それはおかしいだろうという事で、市では予算計上はしない事になっているのです。最終的には国は恐らく出さないでしょうから、市で出さなければならないことになるのかも知れませんが、我が会派は新聞にも報道されていたので、お読みになった方もいらっしゃると思いますが、全額国負担といふ事を貫いて行きたいと、そのような方針でございます。

2月15日から3月4日まで議会が始まりますが、いつもよりは選挙がありますので前倒しの予定をしております。この中で十分な予算審議をして行く事になります。前のように熊谷市長に抵抗することなく、まとめることに行きたいと思っております。熊谷市長の至らないところは我々が補助をして行こうと、予算の審査に望みたいと思っております。以上のように今年度予算一般会計で3,600億円弱についての審議をして23年度予算が実行されるように致したいと思っております。 (文責 寺澤 一良)

2011-2012年度のRIテーマ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



第2303回例会

<第3分区A・Bインターシティ・ミーティング>

日時⇒ 平成23年2月15日(火) 点鐘15:00

会場⇒ ホテル ザ・マンハッタン

講師⇒ おもちゃ博物館館長 北原 照久様
(横浜RC会員)

第2304回例会

日時⇒ 平成23年2月25日(金) 点鐘12:30

演題⇒ 『身近な予防医学について』

卓話者⇒ 千葉大学大学院医学研究院環境生命医学
教授 森 千里先生